

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者もしくは代諾者（保護者等）に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	糖尿病教育入院経験者における退院1年後の血糖コントロール良好群/不良群の心理的特性			
② 実施予定期間	承認後 ～ 2025年3月31日			
③ 対象患者	対象期間に当院の糖尿病内分泌内科で教育入院を受けられた2型糖尿病の患者さんで、教育入院後も1年以上通院された患者さん。			
④ 対象期間	2017年4月1日～2022年3月31日			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院			
⑥ 対象診療科	糖尿病内分泌内科			
⑦ 研究責任者	氏名	石橋麻理南	所属	臨床心理室
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 基本属性：年齢、性別 疾患・治療関連：罹病期間、検査データ（教育入院開始時HbA1c値、退院後6ヶ月HbA1c値、1年後HbA1c値、C/G比）、BMI、合併症（神経障害、網膜症、腎症、脳梗塞、心疾患）の有無、薬物療法（なし/内服のみ/注射薬あり） 心理検査：PAID（Problem Area In Diabetes Survey,糖尿病にまつわる心理的負担感に関する質問票）、GHQ（精神健康調査票）、TEG（東大式エゴグラム）			
⑨ 研究の概要	糖尿病教育入院は、血糖コントロールに対して一定の効果があるものの、その効果は一様ではなく、糖尿病の病態のみならず、環境面や、心理、社会面などの多様な要因に影響を受けると考えられています。 本研究では糖尿病教育入院を経験した方の中で、血糖コントロールが良好である群と不十分である群の心理的特性を調査し、教育入院における心理教育や、教育入院後の心理支援の方法について検討します。			
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします。			
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。			

⑬ 知的財産権	聖マリア病院に属します	
⑭ 研究の資金源	なし	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 臨床心理室 石橋麻理南	
	電話	0942-35-3322